

ニッポンの技術をつなぐ「これいい和」の10年

凛とした人づくりを企業理念に掲げ、人材を育成・輩出していますが、日本の伝統工芸品を広めるというコンセプトの「これいい和」も目を浴びています。会社の立ち上げとほぼ同じ時期に、ノベルティの販売をスタート。当時、月々数十万円だった売上が、今では1億円を超える月も増えてきました。海外製ノベルティが売れている中で日本製の「これいい和」がどのように育ってきたかをお伝えします。



ノベルティ事業を始めてから数年経った頃、取り扱う製品を見てみると、メイドインチャイナの製品が多くありました。コスト面からすると仕方がないと思いましたが、当時からチャイナリスクという言葉も耳にしていましたので、中国との貿易関係が切れることはないにせよ、全面的に軸足を置くのは少しリスクが高いと判断しました。そこで、日本の伝統工芸品を使った日本製ノベルティを取り扱うのが良いのではないかと思いついたのです。

最初は、日本製品は中国製品に値段では勝てないという意見が大半でした。しかし、調べてみると、日本の大手テーマパーク施設では、中国製ではなく、日本の伝統工芸品である美濃焼のマグカップで製作した商品が販売していました。他にも、デフレの影響も手伝い、日本製で安くても質の高いものがたくさんあるということもわかりました。日本の伝統工芸品が広がっていけば、伝統を守る「くにまもり」にもなるということで、ニッポンの技術をつなぐ新ブランド「これいい和」を立ち上げました。

品開発を続け、取扱商品を増やし、各地・各工芸品のストーリーを学んでいくことで、伝統工芸品の良さを伝えてきました。埼玉県で伝統工芸品である武州正藍染を使った名刺ケースやネクタイ、約1500年の歴史をもつ福井県の越前和紙を使ったメモ帳など、多くの商品を開発しました。伝統工芸品を使った商品は、お客様にもその良さが伝わり、販売会をやるたびにどんどん売上が伸びていきました。そして、日本最大級の専門見本市・展示会のギフト・ショー主催者である株式会社ビジネスガイド社様からは、創立50周年の社員向け記念品に津軽びいどろの時計を選んでいただきました。多くのノベルティグッズの展示会を見てきたビジネスガイド社様が弊社の日本製ノベルティを選んでくださったことに、大いに勇気づけられました。

また、世界最大手の米IT企業からは、来日された来賓への記念品として、企業カラーである5色を日本全国の織物で表現したコースターをご注文いただきました。最近では、地域にゆかりのある植物で染

めたハンカチが好評いただいています。八王子市様ではイチヨウ染め、ホテル椿山荘東京様では椿染め、そのほかにも東京の桜で染めたハンカチはその土地の思い出も重なり、累計販売数2万枚を超えました。小中学校で伝統工芸品の出張授業をおこなったり、大学生のアイデアをもとに伝統工芸品を商品化したりと、次世代の若者たちへ伝統工芸品を広めることにも少しずつ貢献できるようになってきました。

「これいい和」は令和8年1月10日で10周年を迎えました。1月10日は語呂に合わせ「これいい和の日」としています。この事業は、弊社の中でも人材育成に並んで、未来ある事業であり、一つのくにまもりです。後継者不足に悩む伝統工芸は数多くあります。担い手が居なくなってしまうと、もう二度と復活できない伝統工芸もあります。職人を守り、職人の技術を受け継いでいくことによって、伝統文化を継承していく。日本の伝統工芸品を選んでもらえるよう、これからも日本製ノベルティの普及活動を続けていきます。

(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲
MURODATE Isao

2003年に株式会社キャリアコンサルティングを設立。全国で若者の育成に取り組む。千葉県教頭会第1ブロック研究大会、むつろータリークラブ創立65周年式典など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパンの講師・審査員。著書に「夢を見て 夢を叶えて 夢になる」(致知出版社)、「まずは上司を勝たせなさい」(講談社)、「「応援される人」にならなさい」(ワック)がある。